

12月定例会
総括質問
主な質問と答弁

金子 修一 議員

どうしたら市内小・中学生の学力向上ができるのか

問 全国学力状況調査の平成19～21年度結果が公表されている。その結果をどう判断し、授業等に反映させ、対策をとったのか。

教育長 国語、算数、数学とも無解答率が高い傾向にあり、学習意欲を高める指導工夫が必要である。結果を各学校に提供し、指導主事から教員に指導助言を行っている。今年度は授業・家庭学習等で有効に活用し、学力向上を校長会等で強く要請している。また家庭との連携を図り学習習慣の確立に努めている。

問 全国学力状況調査の平成21年度データをみると、小学6年生の平均正答率は全国47都道府県中、神奈川県は21番目。県内では鎌倉が京都府と同レベルの6番目。平塚は46番の県と同じレベル。神奈川県内でも平塚は下位にいる。中学3年では、神奈川県は全国で38番。鎌倉は全国レベル3番相当。平塚は44番相当。県内で下位にいる。このような事実を教育委員会は真摯に分析しているのか。

平塚自民クラブ

教育長 教育委員会は授業改善にきちんと取り組まなければならない。それが一番の対策である。教員や管理職はそれぞれ悩み、考え、真剣にとらえている。これは事実である。環境や子供一人一人の生き様、家庭環境も大きな影響を及ぼす。教育のみでは手の届かないところが出てくる。

市長 今回の訪問では経済交流の申し出があり成果があった。経費は一人23万3315円、合計116万6575円である。教育長は学校等の交流会のため、議長は都市提携が議会承認によるため、議長は緊急時の連絡調整のため随行させた。

ローレンス訪問成果
問 姉妹都市提携20周年事業で市民団体と市長・教育長・議長・文化交流課長・職員が同市を訪問した。その成果と5人の経費、教育長・

議長・課長が同行した理由を伺う。

市長 今回の訪問では経済交流の申し出があり成果があった。経費は一人23万3315円、合計116万6575円である。教育長は学校等の交流会のため、議長は都市提携が議会承認によるため、議長は緊急時の連絡調整のため随行させた。

問 この事業はローレンス市の招待ではなく、市民団体の事業である。なぜ教育長、議長、課長が訪問する必要があるのか。行財政改革の最中このような事をすべきではない。議長は辞退

出縄 喜文 議員

広告事業について

問 予算的にはわずかな収入ではあるが、本市でも広告事業に取り組んでいる。これは厳しい財政状況を背景とした自助努力の表われであり、行政といえども収益事業を行うことを求められているといえる。過去の実績と課題、自己評価などを聞きたい。

企画部長 平成22年度の実績を媒体別に集計すると、市および図書館のホームページで293万7000円、「広報ひらつか」など市の発行物で192万6000円となっており、そのほか封筒等への掲載と合わせて総額で628万7000円の効果があった。現在

したほうがよかったと思う。市長 今回の訪問に税金を使ったことについては、交流に使ったお金は必要だと考えて6月定例会で提案し、認めていただいた。

駅前繁華街駐輪対策

問 駅前商店街の駐輪がカラーコーン等で規制され市街地景観からも異様だ。この規制で横道に自転車が多量に歩行者にとって一層危険が増した。駅前繁華街駐輪対策を伺う。

市民部長 この4月でカラーコーンの設置から一年経過する。先般、今後の対策を商店会、警察署と協議した。24年早々に再度協議する中で、指摘の状況も踏まえて検討する。

多くの広告媒体に共通する課題としては、広告主の確保が難しいことが挙げられる。評価については、厳しい財政状況を認識し、資産の有効活用という視点をもって各事業に取り組むという意識の醸成につながったと考えている。

新エネルギー導入

問 本市の平成24年度予算編成方針においても「太陽光発電システムの設置促進や新エネルギーに関する普及啓発など、環境負荷低減の推進を図る」としている。新エネルギー、特に太陽光発電システムを導入することで電力を補い、CO2を削減することができれば、排出権の取り引きも可能となる。しっかりとした目的を持ち成果予測をすること

で、予算的にも事業的にも有効な政策になると考えている。太陽光発電システム導入の目的や成果について尋ねる。

まてて検討する。市長 今回の訪問に税金を使ったことについては、交流に使ったお金は必要だと考えて6月定例会で提案し、認めていただいた。

市民部長

カラーコーン設置が好ましいとは思わない。一月早々に商店会、警察などと協議して、一日も早く撤去できるように努める。

市民の安心・安全は守れるのか
問 市民は災害に対する危機管理を以前にも増して意識している。大規模災害が発生した際、支障が出た箇所の情報はどのように収集するのか。

副市長 国・県、警察やタクシー協会、郵便局等の団体から収集する。

副市長 IT技術が進歩していることから、インターネット通信のサーバーを介した情報共有システムの導入を近々に研究したい。

副市長 土木部が主体となり、80名の人員と本市所有の機械器具を活用して実施

常任委員会の審査概要

教育民生常任委員会

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆主な質疑
○議案第68号「平塚市スポーツ推進審議会条例」

スポーツ基本法の改正により「スポーツ振興審議会設置条例」が「スポーツ推進審議会条例」に変更となった。委員の任期は2年で、再任も可能となっている。

が、再任回数や年齢の上限を設定する必要があるのではないかと。再任の条件設定について、一概に年齢制限を設けるのは困難であると考えている。ただし審議会委員として務まらないような状態であれば、当然再任は行わない。

委員に今までの振興審議会委員とは違う役割を持たせる考えはあるのか。

スポーツの重要事項について審議するという役割については、従前と変わりにない。

○議案第74号「平塚市体育施設及び学校運動場夜間照明施設設置及び管理等に關する条例の一部を改正する条例」

利用者が伸び悩む湖南ひらつかパークゴルフ場の利用料金を改定する条例であるが、65歳以上を200円、65歳未満を400円とした理由は何か。

今回の改定では基本料金は変わらず、高齢者の健康増進などを観点に65歳以上を減額の対象とした。

高齢者の健康増進とのことだが、当初の考えは子供も大人も、高齢者も楽しめる「3世代スポーツ」ということではなかったか。

入場者数を増やしたければ、全利用者均一で200円にすればよい。高齢者への対応のほかに、なぜ若年者や成年者の利用拡大対策を打たないのか。

家族や仲間同士でパークゴルフを楽しんでもらうために、8人以上の団体で利用する場合は50%減額の大人200円、小人100円と設定し、一日を有意義に楽しんでもらうために1日券も設定した。

○議案第79号「平成23年度平塚市一般会計補正予算」

公民館費で、地区公民館に子供用便座やおむつ替えシートなどを設置するための補正をするが、対象の公民館はどこか。また、今後の予定は。

県の補助金を活用し、今回は金目、花水、大神の各地区公民館に設置する。平成24年度以降、この補助金は白紙の状態であるが、他館についても整備していきたいと考えている。

図書館費に関して、今回寄付金を活用して購入する「デジタル録音図書」や「音声・拡大読書機」とはどのようなものか。

デジタル録音図書とは視覚障がい者に配慮したCD-ROMによる音声図書である。また音声・拡大読書機は、印刷活字を40倍まで拡大でき、文字を読み上げる機能も付いている。いずれも目の不自由な方などにとって有用なものだと思っている。